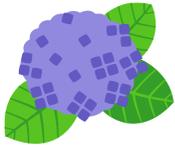


6月号



東田布施小  
だより

# 金 声

令和7年6月2日

〈めざす児童像〉  
「進んで考える子」  
「思いやりのある子」  
「たくましくがんばる子」

【6月のめあて】健康で安全にすごそう

## いつも 心に よい姿勢

保健主任 前田 哲也

毎週火曜日の朝学タイムは「立腰」です。8時からの5分間、各クラスから「立腰の詩」が聞こえてきます。

「腰骨を立てる 下はらに力を入れて 腰骨をシャンと立ててごらん かたやむねに力を入れないで あごをひきましょう すばらしい姿勢です 元気な体のもとです あたまがすんできます あなたのわがままに勝てる姿勢です あなた自身を見なおせる姿勢です きびしい世の中をのりきる姿勢です」

その姿勢は、足の裏がピタリと床に着き、机と椅子の背もたれの間の胴にはそれぞれ拳一個分の空間があり、重ねた両手はへその下に添えてあります。

毎週この5分間の子どもたちの姿勢は、それはそれは素晴らしいものです。

しかし、それ以外の時間（学習、給食など）の姿勢はどうでしょうか。立腰の時の姿勢とあまり変わらない、素晴らしい姿勢の人もある反面、残念な姿勢の人を見かけることも事実です。

今年度、6年生が中心となって考えたチャレンジ目標の一つに「いつも 心に よい姿勢」が掲げられました。6年生から出された「姿勢」に関する提案理由として、

- ・姿勢を正すことで、学習に集中できるから
- ・すぐ猫背になる人が多い気がするから
- ・立腰という東小の伝統文化があるから

などが挙げられたうえでの結果です。

姿勢は学習時はもちろん、他の時間にも気を付けたいものです。

給食の時間、私は特別支援学級担任として、交流学級で給食をいただいています。教室の最後列で子どもたちの食事風景を見ながらふと気付くのが、子どもたちの姿勢です。

背筋がぴんと伸びている子は、食器を持って食べています。背中が丸くなっている子は、置いてある食器の方へ自分の口を近づけて食べています。

食事作法だけでなく、内臓を圧迫しながら食べる姿勢は、栄養の消化吸收の点でもいいことではないでしょう。

このように6年生自らが提案してくれた「姿勢」について、全校児童で意識しながら、自分磨きの日々を過ごさせていきたいと思っています。



## R7 チャレンジ目標が決まりました!

6年生が学校の課題を自分事として捉え、よりよい学校にするためにどんな取組が必要なのかを考えました。発案者は、6年生です。目標の達成に向けて、全校で取り組んでまいります。

### 【R7 チャレンジ目標】

- だまって整列 ろうか歩行
- つながろう あいさつの輪 広げよう 思いやりの行動
- いつも心に よい姿勢

# 東小トピックス

## 砂場で泥んこあそび ~図工科



5/13(火)、2年生が中庭の砂場で、山や川を作ったりトンネルを掘ったりして造形遊びを楽しみました。

砂や土に直接触れるリアルな体験は、感性をくすぐり、心をますます豊かにしてくれます。



## 校庭こいのぼり

地域の方が、今年も中庭に鯉のぼりを設置してくださいました。

五月晴れの空の青さが、天に向かって風にそよぐコいの姿をますます引き立ててくれています。その風情の中で、無邪気に走り回る子どもたちの姿が印象的です。



## 1年生いらっしやい集会

5/1(木)は、1年生いらっしやい集会を迎える会でした。縦割り班対抗で〇×クイズをしたり、6年生が素敵なお花をプレゼントしたりして楽しい時間を過ごしました。

